

1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2022年12月9日(金) No.24



国際理解学習 壁新聞作り&発表 12月6日(火) 5,6限

国際理解学習のまとめとして11月に講師の先生方から聞き取りをした内容や、タブレットや図書館の本等で調べたことをもとに壁新聞を制作しました。グラフを入れたり、カラフルな写真を貼ったりして、みんな読む人が分かりやすいように工夫して作っていました。

完成した後は、同じ聞き取りをしたグループのメンバーと一緒にクラスの前で発表をしました。みんな緊張した様子でしたが、一生懸命発表していましたね。また聴いている人達の態度もとても良く、良い雰囲気の中で発表をすることができました。

一部ですが、みんなの感想を紹介します。

<生徒の感想>より

★世界の国々の人たちについて学んだこと、新しい発見等…

- それぞれの国の独自の文化やその人たちから見る日本のことなど、いろいろな視点があって面白かった。
- ブラジルのスポーツはサッカーだと思ったけど、他にも人気なスポーツがあると学んだ。
- 日本語がすごく難しいと知った。
- 国によってイベントや祝日が違うことを知った。
- ペルーにはお年玉がないということ。
- ブラジルの2010年の人口が21億人以上のことが気になった。
- 国の主食が米やジャガイモなどがあって共通点があり、面白かった。
- 中国では日本のアニメが人気。
- 各国で食文化や地理が違っていたりして、面白かった。
- 日本語の話では、やはり文法は苦しむ壁なんだなと共感できる場所があって、嬉しかったです。
- ペルーでは明治30年代に日本の移民を受け入れているのは意外でした。(ブラジルは知っていたけれど)



★みんなの発表を聞いた感想

- とてもうまく話していたり、要点をしぼって話してくれたので、とても聞きやすく、良かった。
 - 他の班が調べていた国を調べてみようと思う。
 - 一人一人の発表を内容的につなげていた。
- 題名ごとに区切って説明していたのがとても分かりやすかった。
- いろいろな考え方がそれぞれあって、なんか決めつけたり、そういうのはダメだなと思った。
 - 中国について発表した班は、日本の歴史や物、食べ物など関連づけて話していて、興味を持たせる内容もあり、話が上手に展開していました。また、ブラジルの発表した班では、豆知識などの面白いコーナーを仕組んだり、皆がほぼ均等に話したりしていて配分が上手いなと感じました。
 - 韓国では辛い料理が有名で、中でもどんな料理が人気なのか知りたかったので、知れて良かったと思ったり、食べてみたいと思いました。中国では、同じように漢字を使っているなかで、漢字・カタカナ・ひらがなのたくさんの種類がある日本の日本語は、中国人にとって、そんなに難しいんだなと思い、びっくりしました。
 - ブラジルでは熱帯のなかで、その気候を生かして農業や漁業などを行っていることが分かりました。



★興味を持った国(地域)はどこですか?その国の人たちと、将来どのような関係になることを望んでいる?

- 私が調べた国と日本がもっと交流の多い将来になってほしいと思う。日本の中にも最近では、韓国のことが日本に入ってくる人が多いと感じることが多いので、もっと交流が増えるといいなと思いました。外国の子と友達になったりしたら、互いのことを認めあいたい。



→裏につづきます。

・ペルーにとっても興味を持ちました。インカ帝国のことに特に興味を持ったので、調べてみようと思います。はるか昔から続いているペルーという国の歴史も詳しく知りたいと思いました。また、ペルーの人たちとは友達や協力し合えるような関係になりたいです。

・興味を持った国は、アフリカや南アメリカ、北アメリカなどの日本から見て、遠い国です。日本に近いところは、日本と同じような文化でいたい知っているので、アメリカとかは日本とは全く違う文化があると思うし、その気候に適した産業をしているのかなと思ったのと、その地域特有の食べ物があると思うから、知りたいなと思いました。

・現在、最悪な日韓関係といわれていいますが、その原因となる様々な問題を解決していき、たがいに協力し、良好な関係を結び、世界の問題に取り組むこと。

★そのために、あなたは今後、学校で、家庭で、地域などでどのようにしていけばよいですか？

・積極的に知ろうと思っていたり、調べたりして、日本以外のことをどんどん知っていくことが大切だと思いました。家では、伝統的な料理を食べていたり、その文化にふれていくことが大切だと思いました。

・近所の人々や学校の人を見かけたら、挨拶をする。
目をそらさずに挨拶をする。挨拶をする事で、
一人一人が明るい気持ちになり、
一人一人がきちんとすれば、
周りの人が気づいて差別がなくなっていくかもしれないから。

・その国の偏見をしない。声が大きいからって
その国の文化かもしれないから、否定しないようにする。

・韓国の悪い部分のほうしか報道・注目されないで、
『互いが互いの良いところを見つけ、「大事にしないと」とお互いが思える
関係性をつくりあげる』ということができればよいと思う。

・外国の人を見かけても、嫌な目はせず、互いの良いところを
たくさん見つけて、褒めたい。環境や文化、人種をこえて仲良くしたいと思う。
人種なんて関係ないと国際理解で感じる事ができたと思いました。

・日本と中国が仲良くするために、まずクラス同士の仲を良くしていったらいいと思う。
長所を紹介し合う。良いところを見つけ合う。

・「外国の人だから…」とか、「この人はこうだから…」といった先入観を自分からなくしていくこと。自分からさらにその人のことを知ろうとすること。イメージにとらわれないようにすること。イメージや先入観でそのことを決めつけるのはやめること。自分から多くの人に関わり、多くのことを知ること。

・もっといろんな個性を認めあったりできるような人になっていく。学校では、だれとでも仲良くする。

